

DIAM高格付インカム・オープン (毎月決算コース)

<愛称：ハッピークローバー>

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主にマザーファンドへの投資を通じ、実質的に高格付資源国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年6月7日～2022年12月5日

第227期	決算日：2022年7月5日	
第228期	決算日：2022年8月5日	
第229期	決算日：2022年9月5日	
第230期	決算日：2022年10月5日	
第231期	決算日：2022年11月7日	
第232期	決算日：2022年12月5日	
第232期末 (2022年12月5日)	基準価額	7,155円
	純資産総額	93,148百万円
第227期～ 第232期	騰落率	△1.6%
	分配金合計	30円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

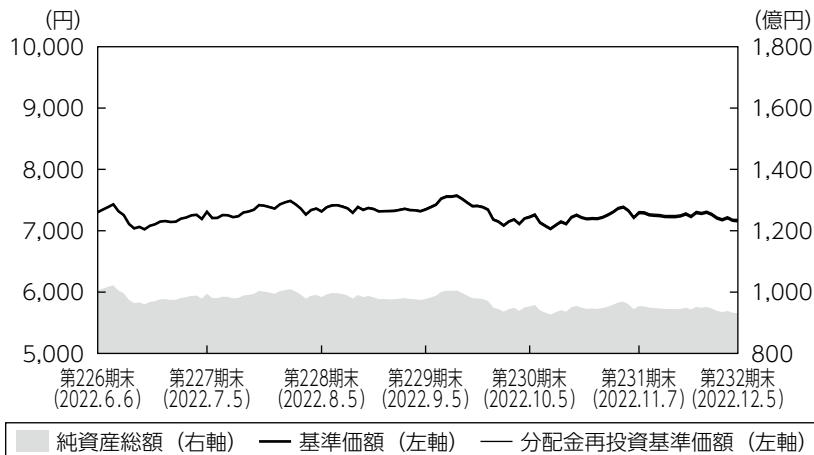
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第227期首： 7,302円
 第232期末： 7,155円
 (既払分配金30円)
 騰落率： $\Delta 1.6\%$
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期後半に発表された米国消費者物価指数の伸び率減速をきっかけに、2021年来続いた米ドル高円安基調が反転したことで主要な投資対象国通貨が対円で下落し、これが基準価額の下落要因となりました。一方、債券市場では、主要な投資対象国であるカナダとオーストラリアの10年国債利回りが低下（価格は上昇）し、これは基準価額の上昇要因となりました。こうした状況下、投資対象国通貨の下落を主因に基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第227期～第232期		項目の概要
	(2022年6月7日～2022年12月5日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	40円	0.549%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,278円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(20)	(0.275)	
(販売会社)	(18)	(0.247)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
(b) その他費用	0	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(0)	(0.005)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	40	0.555	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

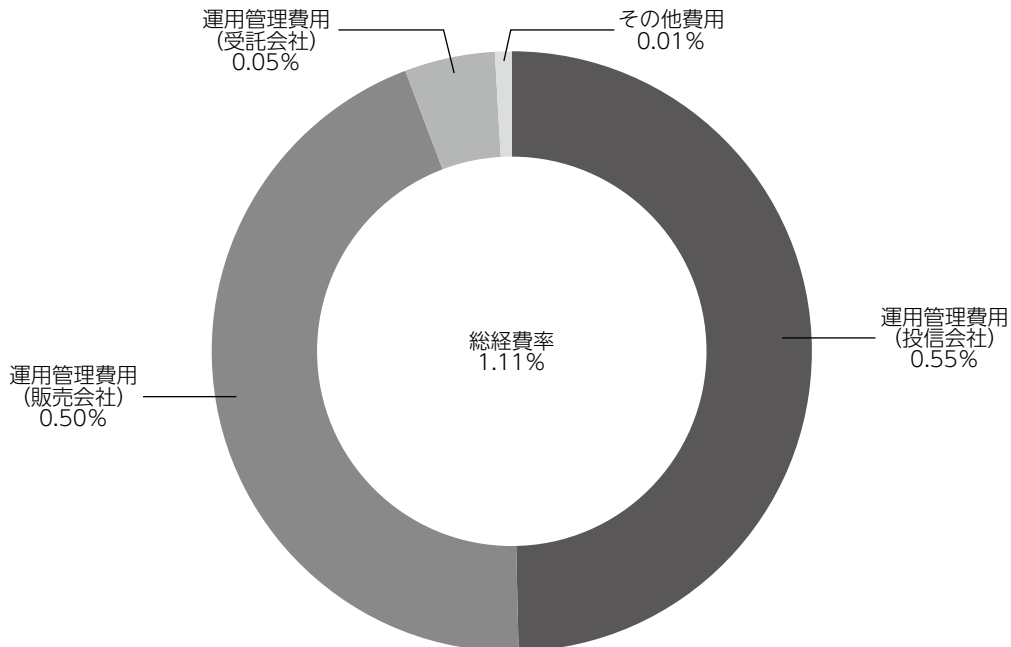
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.11%です。



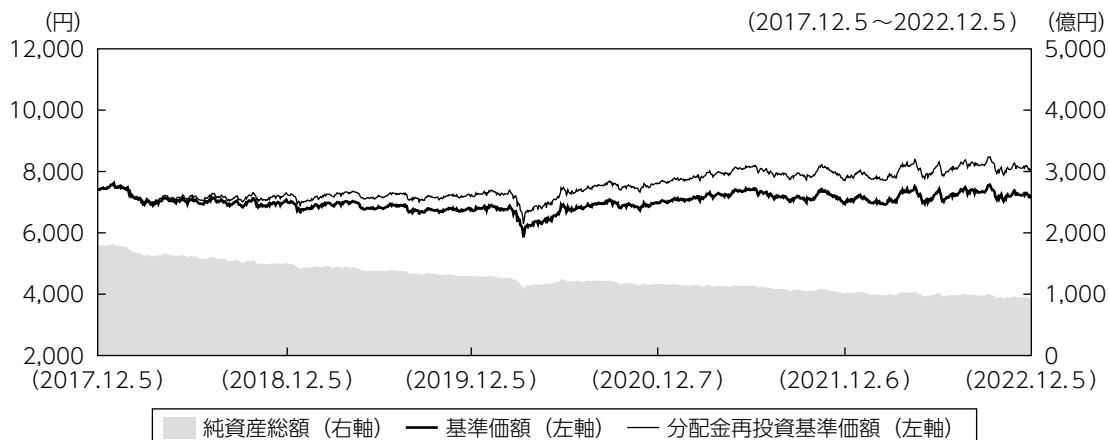
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年12月5日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2017年12月5日 期首	2018年12月5日 決算日	2019年12月5日 決算日	2020年12月7日 決算日	2021年12月6日 決算日	2022年12月5日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	7,443	7,017	6,777	6,982	6,944	7,155
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	240	225	140	120	85
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△2.5	△0.2	5.2	1.1	4.3
純資産総額	(百万円)	180,032	149,814	129,727	116,273	100,665	93,148

(注) 当ファンドは高格付資源国の公社債を投資対象としており、コンセプトに適った指数が存在しないため、ベンチマークを特定しません。

投資環境

外国債券市場では、投資対象国の10年国債利回りの動きがまちまちでした。主要国ではインフレ率が中央銀行の目標を大幅に上回る水準に上昇し、中央銀行がインフレ抑制を最優先に積極的な利上げを進めたことから、米欧などの多くの国債利回りが上昇（価格は下落）しました。しかしその一方で、投資対象国のカナダやオーストラリアでは当作成期中に利上げ幅を縮小するなど引き締め姿勢が弱まったこと、引き締めによる景気の減速や後退が意識されたことで、国債利回りが低下しました。

為替市場では、ニュージーランドを除き全ての投資対象国通貨が対円で下落しました。当作成期の半ばまでは米国での積極的な金融引き締めが意識される一方、日銀が緩和的な金融政策を堅持したことによる米ドル高円安を受けて、投資対象国通貨も対円で上昇しました。しかし作成期後半の米国でのインフレ減速をきっかけに、2021年から続いた米ドル高円安基調が急速に巻き戻される中、引き締め姿勢を強めたニュージーランドを除く全ての投資対象国通貨も対円で下落に転じました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンドを高位に組み入れました。

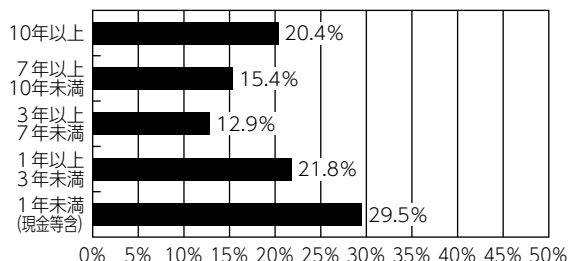
●D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）を概ね維持しました。デュレーション*については、新型コロナウイルスの感染動向と投資対象国および世界経済見通し、主要国および投資対象国の金融政策を勘案して、機動的に調整を行いました。当作成期末のデュレーションは、インフレ長期化の懸念が残ることや短期金利に対して長期金利の水準が低く投資妙味が低いと判断したことなどから、作成期初と比較して短期化しました。

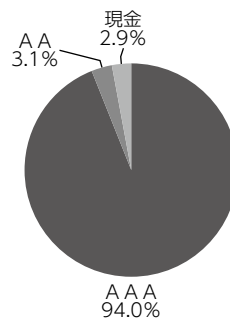
*金利変動に対する債券価格の変動性。

【運用状況】（注）組入比率は、純資産総額に対する実質組入比率です。

○残存期間別構成比



○格付別構成比



分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第227期	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期
	2022年6月7日 ~2022年7月5日	2022年7月6日 ~2022年8月5日	2022年8月6日 ~2022年9月5日	2022年9月6日 ~2022年10月5日	2022年10月6日 ~2022年11月7日	2022年11月8日 ~2022年12月5日
当期分配金（税引前）	5円	5円	5円	5円	5円	5円
対基準価額比率	0.07%	0.07%	0.07%	0.07%	0.07%	0.07%
当期の収益	5円	5円	5円	5円	5円	5円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	109円	113円	121円	125円	135円	137円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンドを高位に組入れることで、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。

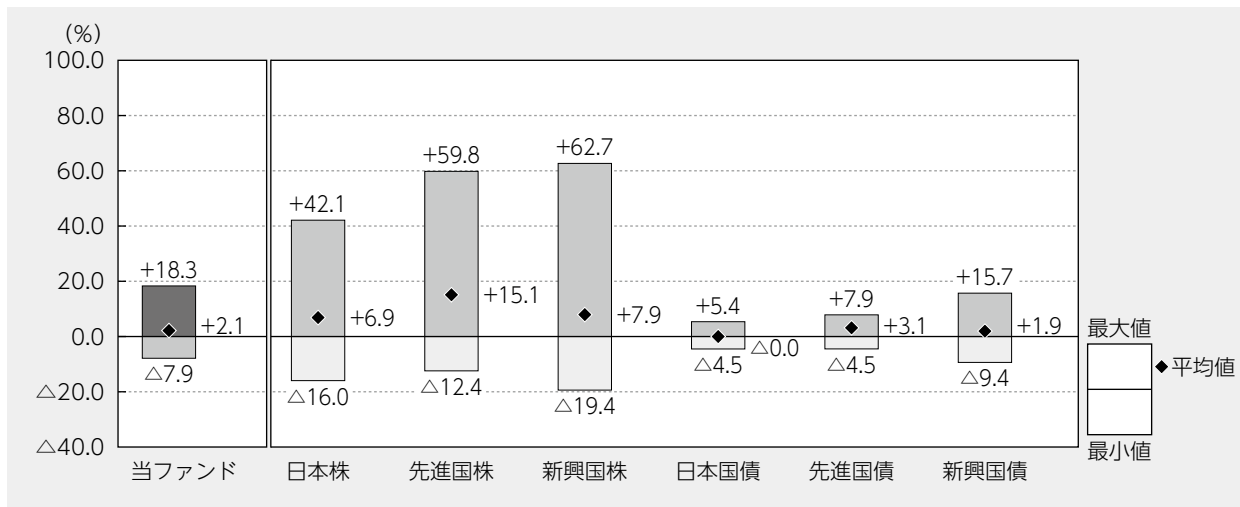
●D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド

基本国別投資比率（カナダ40%、オーストラリア40%、ニュージーランド10%、ノルウェー10%）に沿った運用を維持する方針です。デュレーションについては、中央銀行がインフレの抑制に主眼を置いていることから、主要国および投資対象国のインフレや景気見通し、金融政策を注視し、利回り水準等を勘案しながら機動的に調整を行います。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2003年7月15日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	D I A M高格付インカム・オープン(毎月決算コース)	D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	D I A M高格付インカム・オープン・マザーファンド	高格付資源国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	マザーファンド受益証券への投資を通じて、高格付資源国の公社債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざします。 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。	
分配方針	決算日（原則として毎月5日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として利子配当等収益を中心にして、これに売買益（評価益を含みます。）等を加えた分配対象額の範囲内で分配を行うことを基本とします。また、毎年6月および12月の決算時には委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年12月～2022年11月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2022年12月5日現在）

◆組入ファンド等

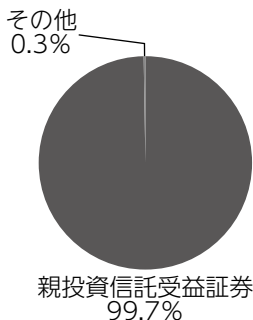
（組入ファンド数：1ファンド）

	第232期末
	2022年12月5日
D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド	99.7%
その他	0.3

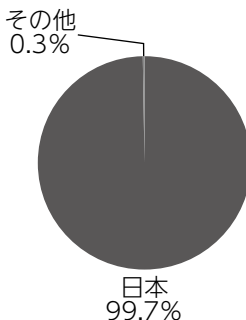
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

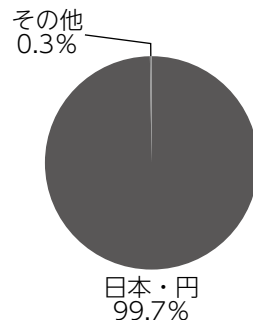
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

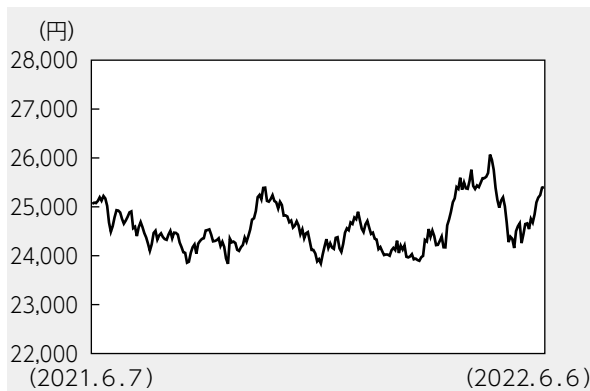
項目	第227期末	第228期末	第229期末	第230期末	第231期末	第232期末
	2022年7月5日	2022年8月5日	2022年9月5日	2022年10月5日	2022年11月7日	2022年12月5日
純資産総額	99,478,178,619円	98,395,358,500円	97,783,759,346円	95,321,847,373円	95,423,517,045円	93,148,331,464円
受益権総口数	136,124,191,565口	134,524,854,800口	133,127,504,802口	132,017,311,259口	130,913,803,796口	130,177,426,926口
1万口当たり基準価額	7,308円	7,314円	7,345円	7,220円	7,289円	7,155円

（注）当作成期間（第227期～第232期）中における追加設定元本額は557,273,992円、同解約元本額は8,115,921,441円です。

組入ファンドの概要

[D I AM高格付インカム・オープン・マザーファンド] (計算期間 2021年6月8日～2022年6月6日)

◆基準価額の推移



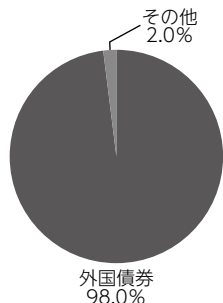
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
CANADA 1.0 09/01/22	カナダ・ドル	6.0%
CANADA 2.0 12/01/51	カナダ・ドル	4.2
CANADA 0.25 11/01/22	カナダ・ドル	3.5
AUSTRALIAN 2.5 05/21/30	オーストラリア・ドル	3.0
CANADA 0.5 09/01/25	カナダ・ドル	2.9
AUSTRALIAN 0.25 11/21/24	オーストラリア・ドル	2.7
AUSTRALIAN 4.75 04/21/27	オーストラリア・ドル	2.7
CANADA 1.25 06/01/30	カナダ・ドル	2.4
NORWAY 1.75 09/06/29	ノルウェー・クローネ	2.4
CANADA 0.25 05/01/23	カナダ・ドル	2.3
組入銘柄数	75銘柄	

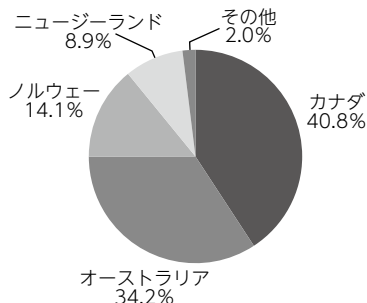
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	2円 (2) (0)	0.010% (0.009) (0.000)
合計	2	0.010
期中の平均基準価額は24,592円です。		

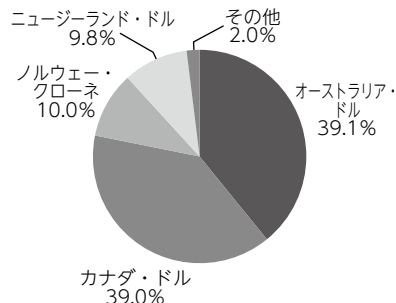
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。また、国際機関の発行する債券については「国際機関」と表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。